

藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会

第7回 藤沢駅南北まちづくり市民検討部会《概要版》

日時：2011年7月13日（水）午前10時00分～

場所：藤沢市役所 新館4階会議室

1. 開 会
2. 部会長挨拶
3. 議 事
(1) これからの進め方について
4. そ の 他
5. 閉 会

【議事概要】

- 部会長 本日の議題は「これからの進め方」ということで、フリーディスカッションを期待しているようだが、早速資料の説明をしてほしい。
- 事務局 <資料説明>
- 部会長 それでは、アンケートの取り扱いなどを含め、フリーでご意見を頂きたい。
アンケートはむしろ「重点・先導P J」として考えられるものについて問いをすれば、密度の濃いアンケートになるのではないか。
- A委員 何か小さなものを回答してもらって、それらを束ねて大きなP Jに仕立てていくという方法もある。
- B委員 南北街づくり協議会でも色々議論をしており、たとえばオープンカフェの実現に対してある色々な問題に対して南北の商店街としてどうするかという話をしている。
- C委員 店舗の内外を感じさせないような親しみやすい雰囲気のみちづくりの一つとしてオープンカフェを考えたが、法律上色々な規制があり、またオープンカフェに使えるような建て方をしている建物も少ないため、歩道を借りたり南口の駅前広場にある緑地を活用してはどうかと考えている。外から来る人にとってもたまり空間として、エリアマネジメント組織が運営したらどうかと話をしている。

- 部会長 オープンカフェはプロジェクト的な議論がしやすい対象ではある。
- A委員 多くのところで社会実験として取り組んだが、どうしても商業的な活動の維持につながらず、何年かやると皆力尽きる等、その進め方に限界が見えてきている。逆に、既存のカフェやレストランの活用、新たな出店等で上手にやらないとなかなか持続できておらず、ある意味ではオープンカフェというのは象徴的なプロジェクトで、それをやることによって色々なことが見えてくるのだと思う。
- 部会長 新たな動きがあるときに自分の敷地を使ってそうした空間を作るのであれば持続性がある。
- A委員 いずれにせよ駅周辺でどうしたらオープンカフェができるかについて考えてみたい。
- 部会長 議論してきた色々な戦略を具体化するためのプロジェクトはどうか。
- D委員 北口通り線整備に関連して今回朝日新聞を壊したことから、街の人たちの話題になっており、現在、朝夕大量に通行している通勤通学者が北口通り線開通により減少する可能性がある中で、地元として今後のまちづくりに対するアンケートも考えている。
- 部会長 これも一つのプロジェクトとなるが、北口通り線沿道に建つものに対して、リクエストしていくこともプロジェクトだろう。
- A委員 地権者の意向もあるだろうが、通りとしての一つのイメージを持ち、発信していくことも必要。また遊行通りとの回遊性という視点も大切である。
- B委員 商工会議所については 25 年度末の完成予定で計画している。北口通り線は歩道 3 m、車道 7 m、歩道 3 m の幅員構成であり、会議所としても 2 M 程度壁面線を後退させて建築したいと考えている。また、遊行通りとの繋がり、今後会議所敷地の一部に確保できるよう計画したい。
- C委員 ここは駅周辺における今後のモデルケースとなるため、旧態依然の、通りぎりぎりまで建物を建て、街路樹もないというのは果たしてどうなのか。
- A委員 全体としてのイメージを持たせると、各地権者がそのイメージに収束していく個別計画になることも考えられ、この通りのことを議論しておき、商工会議所が先導的にイメージづくりを体現すると良いのではないかと。また、北口通り線、遊行通りのみではなく、駅周辺の道路全体の交通計画を持つべきである。
- D委員 自動車交通は R 4 6 7 と北口通り線で処理し、遊行通りを歩行者天国する意見も地元にはある。
- B委員 藤が岡団地方面から降りてきた歩行者等が遊行通りを通るが、北口通り線は坂道の関係か

ら、完成後も歩行者は平面的な遊行通りの方を利用する可能性が高い。

A 委員 これを機会に遊行通りを含めたこのエリアをどういう街に再生するのかを考えていく必要があり、北口通り線と遊行通り両方を合わせてプロジェクトを立ち上げることを考えてみたい。

E 委員 何か仕掛けを考えていく必要がある。たとえば完全に映像にこだわったストリートを作っても面白い。

部会長 ここは大きな変化があるので一つのプロジェクトとし、特に通りの性格付けと、通りの表情の作り方がテーマとなる。ほかにプロジェクト候補はあるか。

A 委員 鶴沼奥田線整備に関連して変化が予想される、橘通りの性格はどうですか。

事務局 少しずつ人通りや店舗が少なくなっており、底上げが必要な通りではある。

F 委員 橘通りも一方通行ですぐ隣にオクスモールという大きな道路が通っており、歩行者専用にしてもよいかと思う。

A 委員 南側では遊行通りの再生と同じように橘通りも歩行者を主体とした街としてどんなことができるかを考えると良い。ファミリー通りは通りの性格が出てきているように思う。

C 委員 通りのイメージづくりは既存の店舗を念頭に置いて考えるので良いのでしょうか。

A 委員 多少、仕掛けていくことは必要だろう。特徴あるお店が一つできるだけで、それが自然に波及していくことがある。戦略として、藤沢スタイルというような、藤沢における生活の質を感じさせるようなものが現れてくるような通りなりエリアというものを作り上げていくことが大切。

C 委員 通りの先の住宅街がどんどん高齢化したときに、お年寄りが朝ご飯を食べに出て行けるようなそんな場があるといい。

A 委員 藤沢あたりの高齢者及びその予備軍はある意味おしゃれな生活の維持が必要で、おしゃれな高齢者が立ち寄れる場所というものができてくるのもいい。

C 委員 各個店がぼつりぼつりとするのはなく、イベントのような形で仕掛けて、生活習慣にとけ込ませていくことが大事。

部会長 今の話をまとめると、藤沢駅周辺の通り全体の性格付けが大きなプロジェクトであり、個別の通りごとの性格付けがサブプロジェクトとなる。そのときの変化をもたらす要素として、一つには交通規制、2つ目は道路のハード整備、3つ目として民有地の動きとなる。他にあるか。

A 委員 駅周辺に限ってではないが移動手段がある。小回りのきくコミュニティレベルの移動手段

- として、自転車や、コミュニティバスの充実等が周辺の高齢者も街に出てきやすくなる。
- D 委員 周辺高台の藤が岡団地では、昔は、行き帰りとも遊行通りを歩いて駅の回りに来ていたが、高齢化して帰りは登りになるのでバスで帰っていく。商店街を歩いてくださいということもアピールしながら、そういう交通手段の確保は良い。
- E 委員 自転車道の整備はどのようになるのか。先程橋通りの話が出ていたが、あそこは海側へのロードバイクの出発点にしたら面白いのではないかと。藤沢に来るとロードバイクの何十万円もする良いやつをレンタルできるというのも面白い。この街ってすごいだろうと言わせるのも手法であろう。
- G 委員 産業振興財団のビジネスコンテストでバイクシェアリングが大賞を取り、現在ステーションは湘南工科大と辻堂駅の商店街の中、辻堂海浜公園にもある。平坦なところを繋げていくので、橋通りを始めとする藤沢駅周辺地区にもステーションの設置要望を考えている。モンゴル人のお墓のあるお寺が片瀬にあり、そのあたりと藤沢を江ノ島道でつなぐようなことができれば良い。
- A 委員 レンタサイクルはある程度スケールメリットがないと事業が成立しない。パリが成功したのは台数とステーションの整備を一気に進めたことにある。
- 藤沢は、自転車で南北の行き来がしにくく、人の南北の行き来だけでなく自転車についても少し考えておいた方が良いでしょう。自転車で走りやすい環境というものを駅周辺に限らず市内に整備されていると良い。
- F 委員 去年の11月に藤沢駅・鵜沼海岸駅・江ノ島駅の3箇所をステーションにしてバイクシェアリングの実証実験をやり、名店ビルのところにステーションを作ったが、駅広が自転車乗車禁止となっており、その先の自転車道への接続が難しかった。
- 事務局 地下道は歩行者の流動が大きく安全な歩行空間の確保という点では、自転車を軽々に通すことへの課題もある。歩専道についても荷さばきなど全体的に考えていかないといけない。
- A 委員 銀座や元町ではステーション(デポ)を作ってそこから中へは手押し車など簡易な手段で荷さばきを行っている。場合によっては、遊行通りなどは完全な歩専道というのではなく、トランジットモールという考え方もあると思う。
- 部会長 駅改良についてこちらからも色々リクエストを出そうというときに、駅改良部会の方の議論の輪郭のようなものが出てきていると、リクエストも出しやすいが、次回かその次くらいに、駅改良部会で何が重要な話題か程度の資料は出せるか。
- 事務局 課題だけは出しているのが方向性までは至っておらず、またすべて事業者同士の間で if が

ついた上での議論となるため、出せるかは難しい。

部会長 鉄道事業者同士の話し合いは機能の話を徹底してやらしてもらえばいいが、外との繋がり具合について、解決したいこと等はないか。あるは、駅部会にはこういう風な前提を置いて議論してもらっています、というような情報でも良い。こちらの議論もプロジェクトを議論していく作業と並行してできると良い。

部会長 プロジェクトという言葉が何度も出てきたが、プロジェクトというのは整理すべき内容を具体的に進めるためのアクションとして考えている。通りの性格付けについては、全体として藤沢のライフスタイルを具現化できるようなことをねらいとして意識して取り組んでいく。その性格付けと並行して具体的なアクションの検討を進めていく。相互にキャッチボールしながらできればよいと考える。

個人的に一つ気になっているのは、都心部に建つマンションへの誘導やリクエストについて、市としての姿勢を持っていた方がよいと考えている。

事務局 まさしく、ガイドラインの話になると思うので、非常に重要だと思っている。

部会長 マンションをどう扱うかをサブプロジェクトの一つにしても良いかと思う。高齢者の居場所づくり、自転車を取り扱いについては、わかりやすい通りの性格付けがコアになると思うので、そこから検討を進めていきたい。作業班には提出されたアンケートの集計分析と並行して、先程の重要な話題を整理して欲しい。

A委員 具体的に各通りでできること、その通りのポテンシャルや資源の提案を行うと良い。

部会長 以上で終わります。

以上